

第2次掛川市総合計画改定・ポストコロナ編  
基本構想改定案へのご意見の反映状況

【 第2回総合計画審議会（12月11日開催） 】

	ご意見の概要（12/11 第2回審議会）	分野	反映状況
1	目標人口達成のため、基本構想でも徹底的な少子化対策を行うことを明記すべきだと思う。2040年の将来人口は、国全体ではマイナス20%、掛川市ではプラス20%となっており、かなり力を入れないと実現できない目標であることを認識してチャレンジしてほしい。	全体	前文に「 <u>積極的な少子化対策を進めて</u> 人口増を目指し」という表現を追記し、来年度の基本計画で具体的に明記します。
2	自治基本条例の前文だけでも、どこかに掲載してほしい。	全体	来年度の「資料編」に掲載するよう検討します。
3	DXの意味をきちんと理解して使ってほしい。単なるデジタル化ではなく、今までの慣習や制度を大きく変えることを意味し、大きな意識の変革を求めるもので、そういった覚悟をもってこの言葉を使ってほしい。	全体	全体を通して、DXやデジタル化等の言葉を再検討し整理しました。
4	教育は学び方や教え方など従来とやり方が全く変わるので、総合計画でもきっちりと位置づけ、「教育DXの推進」と明記し、教育を大きく変革するという覚悟を示すことが重要だと思う。	教育	(1)①のキーワードを「 <u>多方面で活躍できる人材を育成する教育DXの推進</u> 」という言葉にしました。
5	グローバルだけでなくローカル・地元でも活躍できる人材についても明記できればよいと思う。	教育	(1)①の方向性を「 <u>多方面で活躍できる人材</u> 」に修正しました。
6	市民総ぐるみの教育では地域から学ぶことも多く、地域に誇りを持つという意味が入るとよいと思う。	教育	(1)②の方向性に「生涯にわたって学び、 <u>支えあい役立ちあい</u> 」という言葉を追記しました。
7	生涯学習の成果が、自己実現だけでなく、人や地域の役に立つような表現があるとよいと思う。	教育	
8	本物に触れる体験の表現をもう少し積極的な言葉にした方がよいと思う。	教育	(1)⑤の方向性を「 <u>本物の質の高さを体感する機会</u> 」という表現に修正しました。

	ご意見の概要 (12/11 第2回審議会)	分野	反映状況
9	子育て分野においても、地域で総ぐるみという表現を入れた方がよいと思う。	健康・子育て・福祉	(2)①の方向性を「市民、 <u>地域</u> 、企業、行政が連携し」という表現に修正しました。
10	掛川市の将来人口では子どもの数は増加しているが、子育て支援の部分が弱いため、選ばれるまちとなるよう、また弱者の方も活躍できるようなしくみがあるとよいと思う。	健康・子育て・福祉	(2)①の方向性を「結婚、出産、子育てに <u>積極的な</u> 地域づくり」という表現に修正しました。
11	少子化対策が弱いので、掛川市が力を入れるということを強調できる表現を検討してほしい。	健康・子育て・福祉	
12	地域包括ケアシステムは行政主導でなく、住民が参加して自分たちで行う仕組みなので、住民参加型という表現があればよいと思う。	健康・子育て・福祉	(2)②の方向性を「 <u>市民とともにつくる</u> 地域包括ケアシステム」という表現に修正しました。
14	LGBTや様々な方を尊重する意味として、多様性を認めるという表現がよいのではないかと思う。	健康・子育て・福祉	(2)④の方向性を「 <u>多様性</u> を認めあ
15	DXはオペレーションを変えることで、今の取り組みをデジタル化でプロセスを変えるという表現がよい。デジタル化とデジタル化を使って業務そのものを変革するという2つの観点があればよいと思う。	健康・子育て・福祉	(2)⑤の方向性を「 <u>デジタル技術を有効に活用し、従来の人や地域のネットワークをさらに強化し</u> 」という表現に修正しました。
16	デジタル技術を有効に活用し、従来の人や地域のネットワークをさらに強化するという表現がよいのではないかと思う。	健康・子育て・福祉	
17	本当に誰ひとり取り残されない表現として、「孤立化する人をなくす」ことが大切ではないかと思う。	健康・子育て・福祉	
18	記載しきれない弱者やLGBTなど見えない少数派の方々への配慮なども施策の中で明記してほしい。	健康・子育て・福祉	(2)⑤の方向性を「誰ひとり <u>孤立することなく</u> 取り残されない」という表現に修正しました。
19	地域ネットワークにも参加できない状況もあり、取り残される女性がないようなくみをつくってほしい。	健康・子育て・福祉	
20	地域循環共生圏は、地域資源を掘り起こして、ニーズのある所に循環をして全体として共生するという積極的な概念なので、もう少し市民にわかりやすい表現にした方がよいと思う。	環境	(3)②の方向性を「 <u>新たな地域資源を掘り起こし、環境と経済が両立し、地域の活力が最大限に発揮される地域循環共生圏</u> 」という表現に修正しました。

	ご意見の概要 (12/11 第2回審議会)	分野	反映状況
21	掛川市内に囚われ過ぎずに、オープンイノベーション、外とつながりも方法論として考えておく必要がある。	産業・経済	(4)①の方向性の「世界につながる活力ある産業」の表現で外部とのつながりを含めるとともに、来年度の基本計画で具体的に明記します。
22	地域内循環はもちろん大切だが、実際には外とのやりとりが多いので、考慮に入れておいた方がよいと思う。	産業・経済	
23	活力ある産業を生み出すという表現をキーワードにも反映させた方がよい。	産業・経済	(4)①のキーワードに「 <u>活力ある産業の創出</u> 」という表現を追記しました。
24	茶業や農業について、実際にはとても苦戦しており、現実的ではない気がするので、具体的な前向きな表現ができるとよいと思う。	産業・経済	来年度の基本計画で具体的に明記します。
25	働き方については、基本計画で具体的に明記されると思うが、政策としては今年度から検討を進めてほしい。	産業・経済	今年度から政策を検討し、来年度の基本計画で具体的に明記します。
26	「魅力ある暮らし」と「地域の魅力を活かしたシティプロモーション」の2つの表現に違和感を感じる。	シティプロモーション	(5)①の方向性を「地域 <u>資源</u> を活かしたシティプロモーション」という表現に修正しました。
27	産業とともに人についても掛川市のコミュニティで閉じるのではなく、働き方など関係人口の増加が大切なので、わかりやすく表現するとよいと思う。	シティプロモーション	(5)①の方向性の「様々な形でまちに関わる関係人口の増加」の表現に含めるとともに、来年度の基本計画で具体的に明記します。
28	今も地方分散の流れはできておらず、努力すれば人を呼び込めるかもしれない、受け皿・受け身では人は来ないと意識に改めた方がよいと思う。	シティプロモーション	(5)②「東京一極集中から地方分散の流れの中」、(6)③の「地方分散の流れを受け」という言葉を削除しました。
29	防災・防犯においては、デジタル化により、自助とともに共助もあると思うので記載するとよいと思う。	安全・安心・都市基盤	(6)⑤の方向性を「必要な情報を誰でも迅速・的確に <u>共有でき</u> 」と修正し、「 <u>自助・共助により</u> 」という表現を追加しました。
30	市民が参画して意識を高めるという表現が入るとよいと思う。	安全・安心・都市基盤	
31	デジタル技術を災害時に活用することはとても有効であり、行政内や国や県との連携も重要なので、どこかに入れるとよいと思う。	安全・安心・都市基盤	

	ご意見の概要 (12/11 第2回審議会)	分野	反映状況
32	柱の「協働と連携」の順番を検討してほしい。	協働・ 広域・ 行財政	(7)①が協働について、②が連携についての項目であるため、そのままの表現とします。
33	柱の「世界とつながる」の表現がどことつながるのかわかりにくい。	協働・ 広域・ 行財政	積極的な国際交流を想定していた言葉であり、ポストコロナ社会の軸とは異なるため、「世界とつながる」の言葉を削除しました。
34	「誰もが役立ちあい支えあう」という表現を統一した方がよい。	協働・ 広域・ 行財政	(1) (7)の柱・方向性・キーワードを「誰もが支えあい役立ちあう」という表現で統一しました。
35	デジタル化と人やネットワークの表現があいまいに感じる。	協働・ 広域・ 行財政	(7)①の方向性を「 <u>デジタル技術を有効に活用して</u> 」という表現に修正しました。
36	市民サービスの向上を目的として行政DXを進めること、またコロナ版の改定だからこそ、非常時の市役所業務を継続するためにも行政のデジタル完結や行政DXという言葉に明記する必要があると思う。	協働・ 広域・ 行財政	(7)③のキーワードを「 <u>行政DX</u> 」という言葉に修正しました。
37	公共施設の適正化は、ハード面だけではなくソフト面でもサービスの提供が考えられる時代になっていると思う。	協働・ 広域・ 行財政	来年度の基本計画で具体的に明記します。

【市議会全員協議会（12月18日開催）】

	ご意見の概要（12/18 全員協議会）	分野	対 応
1	来年4月に市長が変わることで、来年6月頃には改めて総合計画を改定する可能性が高いと思うが、この時期での改定をどのように考えているのか。	全体	コロナ感染症による社会変化に伴い、掛川市においてもまちづくりを再検討すべき時期と考え、またこの総合計画はこの議会の皆様に議決をいただいた計画であるため、改定にあたっては皆様でしっかりと構想を決める必要があると考えております。
2	改定版は、全体的に行政が薄くなっているような印象があるので、もう少し行政と市民との連携等も見えるような表現に検討したほうがよい。	全体	協働のまちづくりとして、市民や地域の力を前面に出した表現が多くなっていますが、検討して参ります。
3	ポストコロナの視点として「包摂的な社会」という言葉使っているが、市民にはなじみの薄い言葉なので他に言い換えることはできないか。また、具体的にどのような社会を目指しているのか教えてほしい。	全体	「包摂」という言葉は、平成27年の総合計画策定時から使っていますが、注釈を追記しました。また、市が目指す社会としては、多文化共生推進や人権政策等の計画を作っているところなので、市民の皆様の意見をいただきながら更に検討して参ります。
4	基本理念では「協働のまちづくり」の下に報徳の精神や生涯学習が置かれており、生涯学習都市宣言が協働より狭い概念に見えてしまうため、構成を検討した方がよい。	基本理念	基本理念のページは、自治基本条例を転記しており、条例改定にあたっては大きな市民議論を含めて慎重に進めなければならないので、今後検討して参ります。
5	2020年の実績値は予想より約1,400人増えているのに、2025年の将来人口は115,000人と現在より減ってしまう予想で修正していない。2040年の12万人の目標に向けて緩やかに増加していくような、現状に合わせた新たな目標設定が必要だと考える。	人口	将来人口につきましては、コロナの影響や国の指標、昨今の市の人口移動等の状況を鑑み、改めて試算し修正しました。今後については、コロナの状況を見極めながら、5年ごとに検討して参ります。
6	土地利用構想のページで、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」という言葉を入れた意図を教えてください。	土地利用構想	近年は公共施設の再配置などの動きもあり、これまで進めてきたまちづくりをさらに補完するという意味で追記しました。
7	(1)⑤について、デジタル化による学びと、本物から得る体験は、質の違う学びだと思うので、デジタル化を既存の物に無理にくっつけずに項目を変えた方がよいと思う。	教育	デジタル化は手段であり、学びの方法として、デジタルと本物の体験を示していますが、今後わかりやすい表現を検討して参ります。
8	(3)④について、「市民の自助・共助」とあるが、公助を抜いている意図を教えてください。	環境	公助については、(3)③に「公民連携による」という表現により、④と目的を分けて記載しています。
9	(7)③に「柔軟で多様な人材育成と活用」とあり、これまでの方法とは変わってくると思うが、人材の活用計画等を作る予定はあるか。	行財政	今年度からIT人材の養成計画の策定に向けて協議をしているところなので、外部の専門性を含めて進めて参ります。

【 パブリックコメント（令和2年12月18日～令和3年1月17日） 】

	ご意見の概要（パブリックコメント）	分野	対 応
1	<p>人口増加の目標に対して実現可能な具体策が少ないと感じる。人口減少の現実を考え、グローバル化したまちづくり、歴史・文化・食など地域資源の活用によって質の高い来訪者が立ち寄りたいまちづくりを期待する。</p> <p>また、人口増加が見込まれない中で、財源確保は重要な課題であり、リスク管理も必要だと考える。</p>	全体	<p>人口増加の目標に対しては、積極的な少子化対策を進めるとともに、掛川の地域資源を生かして質の高い関係人口を増加し、移住・定住者の増加につながるような具体策を検討して参ります。</p> <p>また、新たな活力ある産業の創出等による産業基盤の充実とともに、効率的な行政経営を進め、安定した財源確保を目指します。</p>